

PL-MC000

取扱説明書

PL-MC000（メモリカード I/F ユニット）は(株)デジタル製パネルコンピュータシリーズ（以下 PL と称します）用のメモリカードインターフェイスユニットです。JEIDA Ver.4.1 に準拠しています。

本書に記載の商品名や製品は、それぞれの所有者の商標です。



警告 安全に関する使用上の注意

- ・ PL への取り付け時は感電の危険性がありますので、PL に電源が供給されていないことを必ず確認して取り付けてください。
- ・ PL-MC000 は改造しないでください。火災、感電の恐れがあります。
- ・ PL-MC000 を取り付ける際には、本書の「2. 取り付け」をよく読んで、正しく取り付けてください。
- ・ PL は航空機器、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、生命の維持に関わる医療機器などの極めて高度な信頼性・安全性が求められる用途への使用を想定しておりません。これらの用途には使用できません。
- ・ PL を運送機器（列車、自動車、船舶等）、防災防犯装置、各種安全装置、生命の維持に関わらない医療機器などの、機能・精度において高い信頼性・安全性が求められる用途で使用する場合は、組み込まれるシステム機器全般として、冗長設計、誤動作防止設計等の安全設計を施す必要があります。

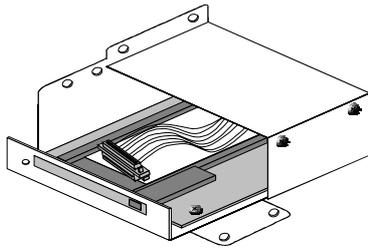
故障しないために

- ・ PL-MC000 は精密機器ですので、衝撃を与えないでください。
- ・ PL-MC000 に水や液状のものや金属が付着しないようにしてください。故障や感電の原因になります。
- ・ 直射日光に当たる場所や高温の場所、ほこりの多い場所、振動の加わる場所での保管および使用は避けてください。
- ・ 薬品が気化し、発散している空気や薬品が付着する場所での保管および使用は避けてください。
- ・ 勝手に修理や改造を行わないでください。
- ・ ファイル破損を防ぐため、必ず正しい手順で OS を終了してからコンピュータの電源を切るようにしてください。

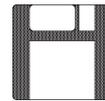
梱包内容

梱包箱には、以下のものが入っています。ご使用前に必ず確認してください。

PL-MC000 本体

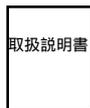


フロッピーディスク 1枚
ユーティリティソフト



取扱説明書 1枚 (本書)

PL-MC000 取扱説明書



品質や梱包などには出荷時に際し、万全を期しておりますが、万一破損や部品不足、その他お気付きの点がありましたら、直ちに販売店までご連絡くださいますようお願いいたします。

1 ハードウェア仕様

環境仕様

| | |
|-------------------------|-----------------------------|
| 使用周囲温度 | 0 ~ 45 |
| 保存周囲温度 | -10 ~ 60 |
| 周囲湿度 | 30 ~ 85%RH (結露のないこと) |
| 耐ノイズ性 (ノイズシミュレータによる) | ノイズ電圧 : 1000Vp-p |
| | パルス幅 : 50ns、500ns、1 μ s |
| 静電耐圧 | 5kV |

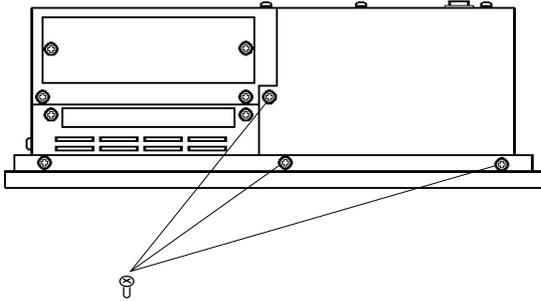
2 取り付け

以下の方法で PL-MC000 を PL へ取り付けてください。

警告

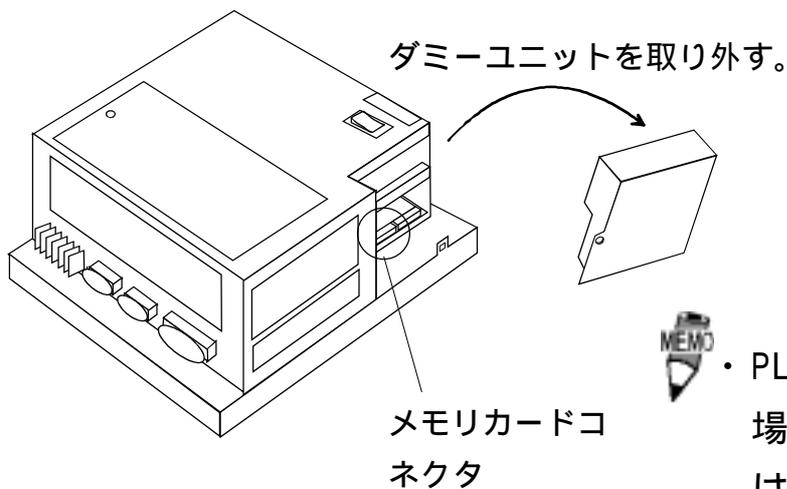
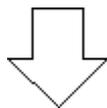
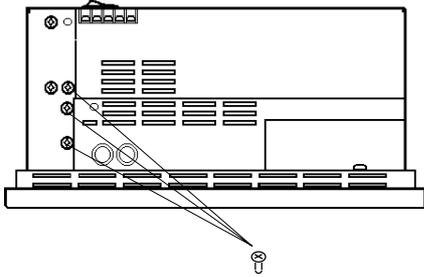
- 感電の恐れがありますので、必ず PL の電源を切ってから作業を行ってください。

(PL 底面)

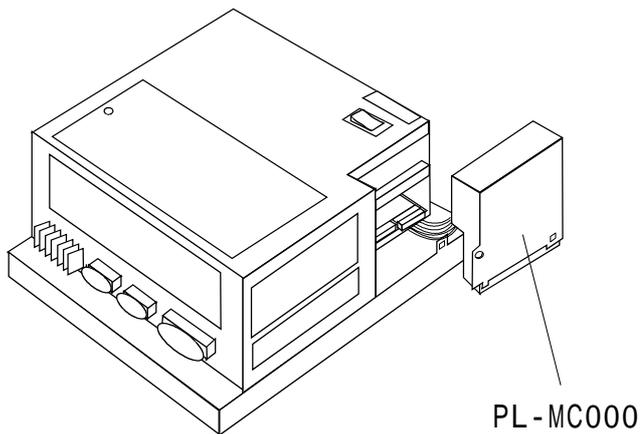


PL 側面と底面のネジ 6 カ所を外し、ダミーユニットを取り外します。

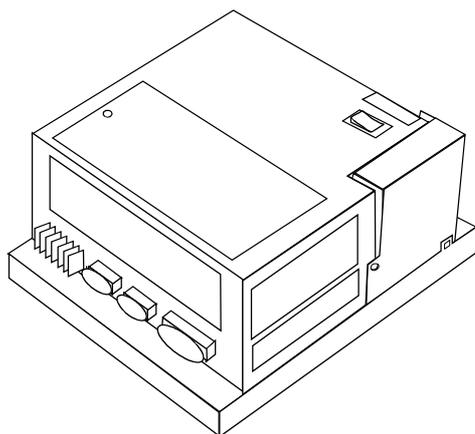
(PL 側面)



- PL-MC000 を取り付ける場合は、ダミーユニットは不要になります。



PL-MC000 のケーブルを、PL のメモリカードコネクタに差し込みます。



PL-MC000 を取り付けます。上から差し込むように取り付けてください。

取り付けた後、PL 側面と底面のネジ 6 カ所を元通りに止めます。



- ・ PL 本体と PL-MC000 の板金間にケーブルをはさみ込まないように注意してください。破損の原因となります。
- ・ PL-MC000 取り付け時、ネジ穴が合わない場合は、6カ所のネジを仮締めした後、締め込むようにしてください。

3 使用可能なメモリカード

PL-MC000 では、JEIDA Ver.4.1に準拠したメモリカードを使用することができます。ただし、フラッシュ ROM カードの書き込みおよび ID カードは使用できません。

使用可能なメモリカードの種類は以下のとおりです。

| | |
|--------|---|
| 容量 | 32KB, 63KB, 128KB, 256KB, 512KB, 1MB, 2MB, 4MB, 8MB, 16MB, 32MB |
| デバイス速度 | 100ns, 150ns, 200ns, 250ns |
| デバイス種別 | SRAM ... 読み出し、書き込み可能 F-E ² PROM, MASK ROM, OTP ROM, EPROM ... 読み出し可能 |



- ・規格に準拠したメモリカードの中にも、使用できないものがあります。

(株)デジタル製メモリカード

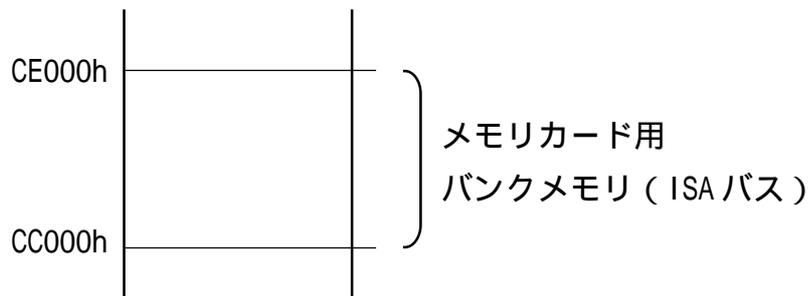
| タイプ | 商品型式 | 容量 |
|----------|-------------|-------|
| SRAM | DJD-BS512 | 512KB |
| | DJD-BS1MB | 1MB |
| フラッシュROM | DJD-BF512MB | 512KB |
| | DJD-BF1MB | 1MB |

- ・ SRAM カードはコモンメモリが SRAM32K バイト ~ 32M バイトまでで、0番地からの連続アドレスのものに限ります。さらに、アトリビュートメモリが無い、またはアトリビュートメモリがある場合はコモンメモリのデバイス情報タプルが最初にある必要があります。
- ・ バッテリーバックアップ付き SRAM カードの場合、バッテリー電圧のチェックは行っていません。チェックを行う場合は、RCSTAT コマンドを使用してください。 **参照** 6. コマンド概要説明
- ・ ROM カードはコモンメモリの先頭から FAT ファイルシステム用にデータが記録されている必要があります。
- ・ サポートするセクターサイズは512Kバイト固定です。
- ・ PL-MC000 は、システムの起動メディアまたはシステム起動後の CONFIG.SYS 読み出しメディアとしては使用できません。
- ・ 他の機器で書き込まれたデータは正常に読み取れない場合があります。
- ・ 電源 ON 時には、できるだけメモリカードの抜き差しを行わないでください。なお、アクセス時(アクセスランプ点灯中)は、メモリカードの抜き差しは厳禁ですので特にご注意ください。

4

メモリ構成

メモリマップ



- ・ EMM386.EXE 等のメモリマネージャや他のオプション等を使用する場合は、PL-MC000 で使用しているアドレス (CC000 ~ CDFFF) を使用しないでください。

例) マイクロソフト社製 EMM386.EXE の場合

DEVICE=EMM386.EXE RAM X=CC00-CDFF

5

メモリカードドライバ

PL-MC000 に挿入された SRAM たまは ROM カードを MS-DOS のディスクドライブとして使用するためのデバイスドライバです。

ドライバ組み込み方法

CONFIG.SYS に以下の 1 行を追加します。このドライバに割り当てられるドライブ名は組み込み時に既に組み込まれているドライブの次のドライブとなります。

DEVICE=[ドライブ名:パス名]PLMCDRV.SYS

上記デバイスを追加することにより、起動時に以下のメッセージと組み込まれたドライブ名を表示します。

PLMCDRV.SYS Version 1.00

Copyright(c)1996 Digital Electronics Corporation

PLMC Drive Installed Drive x:

コマンド概要説明

SRAM カードを使用する場合は、付属のユーティリティソフトを使用してバッテリー状態のチェックやフォーマットを行います。

RCSTAT.EXE コマンド

PL-MC000 に挿入された SRAM カードのバッテリー状態をチェックし、標準出力へ表示するとともに、DOS のエラーレベルへバッテリー状態を示すリターン値を返します。

・コマンド実行方法

コマンドラインで以下のコマンドを実行します。

```
RCSTAT [↵]
```

上記コマンドを実行すると、以下のメッセージと共に、エラーメッセージやバッテリー状態が表示されます。

```
RCSTAT Version 1.01
```

```
Copyright(c)1996 Digital Electronics Corporation
```

・エラーメッセージおよびバッテリー状態

```
「USAGE:RCSTAT」
```

```
不正なオプションを付けてコマンド実行 ... リターン値 -1
```

```
「ERROR!! IC MEMORY CARD not found.」
```

```
メモリカード無し ... リターン値 1
```

```
「IC MEMORY CARD BATTERY OK.」
```

```
バッテリー OK ... リターン値 0
```

```
「IC MEMORY CARD BATTERY LOW.」
```

```
バッテリー LOW ... リターン値 2
```

```
「IC MEMORY CARD BATTERY DISCHARGED.」
```

```
バッテリー無し ... リターン値 3
```

RCFMT.EXE コマンド
PL-MC000 に挿入された SRAM カードを PL-5700 で RAM ディスク
として使用できるようにフォーマットを行います。

・ **コマンド実行方法**

コマンドラインで以下のコマンドを実行します。

RCFMT

上記コマンドを実行すると、以下のメッセージが表示されます。

RCFMT Version 1.05

Copyright(c)1991-1996 Digital Electronics
Corporation

Insert new MEMORY CARD
and strike ENTER when ready

Format complete

xxxxxxx byte available on disk

Format another(Y/N)?

フォーマットが正しく行われなかった場合は、以下のエラーメッ
セージが表示されます。

・ **エラーメッセージ**

「ERROR!! IC Unsupported Media.」

サポートされていないメモリカードを挿入

「ERROR!! IC MEMORY CARD not found.」

メモリカード無し

「ERROR!! IC Write protected.」

メモリカードが書き込み禁止

お断り

本製品を使用したことによるお客様の損害お
よび免失利益、または第三者からのいかなる
請求につきましても、当社はその責任を負い
かねますのであらかじめご了承ください。

株式会社 デジタル

〒559-0031

大阪市住之江区南港東8-2-52

T E L (06)6613-1101 (代)

F A X (06)6613-5888